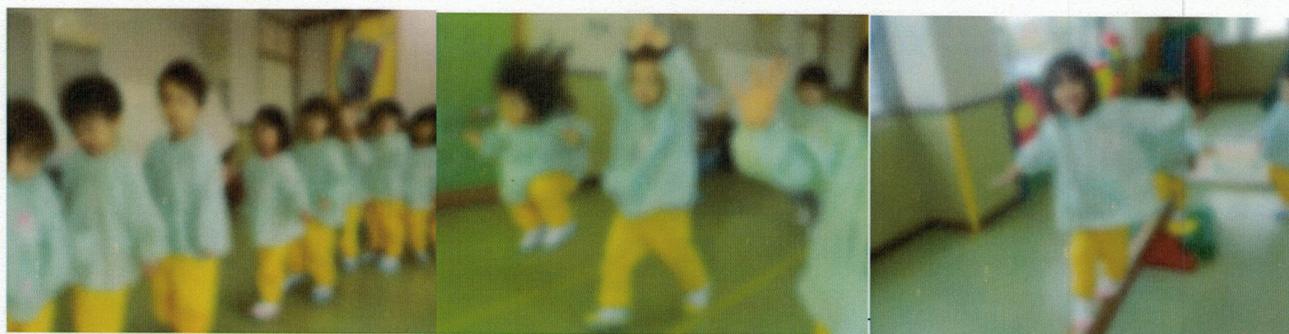


公開保育の概要

12月5日(月)	年中児 28名	担任：K(6年目) S(3年目)
テーマ：ピアノで楽しく演奏！		
<p>テーマの受けとめ：昨年、年少時に楽器を作って遊んだり、手遊びを楽しむ姿が見られた。進級してからピアノを始めるととても意欲的で、自宅でも練習をしようと持ち帰る姿が見られ、音楽遊びを楽しんでいる。様々な曲に触れ、演奏で表現できる喜びを感じて欲しいと思い、このテーマを選んだ。</p>		
<p>取り組みの概要：■ドレミファソを弾く際の指番号「1～5」を覚えた。■祖父母参観に向けて「メリーさんのひつじ」に取り組んだ。1. ピアノに合わせて音階を歌で覚える。2. 手拍子でリズム打ちをし、リズムをつかんでからピアノで吹いてみる。■現在「ちょうちょう」を同様の流れで練習中。</p>		
<p>当日の内容(予定)：新たに取り組む「きらきらぼし」を音階で歌ったり、「ラ」の指使いについて学ぶ。</p>		



12月6日(火)	2歳児 19名	担任：Y(6年目) F(5年目) O(2年目) 介助員1名
テーマ：運動遊び		
<p>テーマの受けとめ：4月当初に比べ運動能力(走る、跳ぶ等)が身に付くにつれて、色々な物への興味、関心が広がっている。何事も自分でやりたいと話す姿が見られる。また、簡単なルールを守ることができるようになり、友達との関わりも増えている。楽しく体を動かす中で、満足感や達成感を味わい挑戦する意欲を育てたい。</p>		
<p>取り組みの概要：■マット遊び(くぐる、ジャンプ、前転) ■バランス運動(平均台の上を歩く、ぐらぐらマット) ■鉄棒(ぶら下がる、くぐる) ■滑り台 ■ボール遊び(投げる、蹴る、転がす) ■リトミック(ジャンプ、かけあし、ゆっくり歩き、回るなど)</p>		
<p>当日の内容(予定)：■動物になりきり、その動きを楽しむ。(ウサギ、カエル、ライオンなど) ■様々な遊具の中から好きなものを選び、体を動かす楽しさを感じる。</p>		



12月8日(木)	年少児 30名	担任：N(5年目) O(3年目)
テーマ：リズム遊び		
テーマの受けとめ：来年度のピアノ演奏に向け、楽譜に親しみを持てるように音符のリズムをクイズにすると、興味を持つ姿が見られた。歌やダンスが好きな子どもたちに、より一層音楽を楽しんでほしいと思い、リズム遊びを活動に取り入れた。		
取り組みの概要：■四分音符・四分休符をはじめとする簡単な音符をクイズ形式で学ぶ。■音符を並べ、リズム読み・リズム打ちをする。■リズムを「もの」の名前に変換し、リズム打ちをする。		
当日の内容(予定)：■音符クイズ■グループごとに二小節のリズム作り・発表、リズム打ち		



12月9日(金)	年長児 30名	担任：T(6年目) M(2年目)
テーマ：ガリバーオリジナルカレンダー制作		
テーマの受けとめ：就学児前検診が終わり、クラスのみんが別々の小学校に行くことを寂しく感じている。夏休み明けより上達したひらがなや数字を使い、就学後も使える物を子どもたち自身の手で作成し、友達との楽しい思い出とともに学校生活を頑張ってもらいたいと願いこのテーマにした。		
取り組みの概要：■ひらがな、数字を正しく書くためにワークで練習。■朝の会の日付確認時に「今日は何の日？(例えば11月1日はワンワンワンで犬の日)」を話し、カレンダーや暦への興味を広げる。■カレンダー制作に取りかかる。1人1日担当し、表の数字は貼り絵をして、裏には自分で調べた今日は何の日か1ヶ月分書く。■「月」の字は誕生児がグループになり、クラスにある物を使って作る。		
当日の内容(予定)：カレンダー制作の続き		



公開保育による施設関係者評価と第三者評価

日 時	平成 28 年 12 月 5 日（月）～9 日（金） 午前 10 時～11 時 15 分程度
会 場	当園舎
内 容	<p>公開保育を行い、予め当園で用意した評価票を使って評価を行う。評価票は SSTEW スケールを基に、評価を受ける教員自身はその評価項目を抜粋し作成した。本来の SSTEW スケールは 5 つのサブスケール、14 の項目、41 の評価ポイントからなり、評価者は最低数時間の観察と室内外における観察が必要となる。さらに評価方法に関する理解と判断のポイント（総合的、専門的な判断）など知識も必要となり、最終的には複数の評価者と話し合いによってスコアを決める。また、別の環境評価スケールの併用も勧められている。そこで評価のポイントの評価を受ける教員自身が絞ることでスケールへの理解と、また評価者の負担軽減を目的として変則的ではあるがこのような方法を採用することにした。</p> <p>また今年度は「努力したほうが良い点」を省略した。昨年実施して教員自身がよく承知していたこと、また、教員一人一人の得意な分野、得意な能力の向上を目指すことに重点を置くためである。</p> <p>昨年度同様、職員同士お互いの保育を見学できるように 1 日 1 クラスずつ行う。</p> <p>各クラス保護者・当園教員等の施設関係者、並びに市内私立幼稚園代表 1 園の第三者に必ず評価をおこなっていただく。</p>
評価者	施設関係者：保護者 8 名、当園教員 16 名、小学校 2 名（校長 1 名、教務主任 1 名） 第三者：長岡市内私立幼稚園 4 園（園長 2 名、主任等 4 名）、 長岡市立幼稚園 1 名（園長 1 名）
経 過	11 月 11 日：文書による概要説明（別紙：公開保育の概要参照） 12 月 5 日～9 日（内 4 日間）：当日文書による指導案配布（別紙：公開保育指導案参照） 12 月末日：評価票の提出
結 果	別紙記載 評価公表にあたり、不特定多数が閲覧可能な当園ホームページに掲載するため、人物の特定ができないように報告することをご了承下さい。
総 評	昨年度と比較して専門的な指導方法の創意工夫や園児への声掛け等の対応がよく、日々の積み重ねによる基本的な生活習慣もよく身に付いていると感じる。 2 歳児、年少児クラスはもっとゆっくりとした展開を、年中児、年長児クラスはもう少し発展的でもよかったように思う。 公開保育とその評価は教員にとって負担ではあるが、目に見えて指導の質の向上に繋がって

いることは間違いない。

平成 30 年度には教育保育要領も改訂され、より自主性、主体性、協働性、協調性などが求められ、認知能力と非認知能力の調和のとれた指導が必要とされる。

また、小学校への接続も今よりさらに重要となり、益々教員一人一人の指導力が問われることになるだろう。

来年度はアクティブラーニングに重きを置き、遊びの連続性、ディスカッションやディベートに時間をかけるとともに、自尊心やコミュニケーション能力の向上といったところに焦点を当てて取り組めるようカリキュラムを構成したい。

平成 29 年 1 月

報告者 園長 若槻 司

公開保育指導案

平成 28 年 12 月 5 日 (月)

年中児

担任：K 教諭、S 教諭

テーマ ピアニカで楽しく演奏！

要領ねらい □表現(1) いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。

要領内容

- 表現(6)音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったりなどする楽しさを味わう。
- 環境(7)身近な物や遊具に興味をもってかかわり、考えたり、試したりして工夫して遊ぶ。
- 人間関係(7) 友達のよさに気づき、一緒に活動する楽しさを味わう。

先週までの活動概要と園児の姿

- ・ 11月の歌として「山の音楽家」を歌うと歌詞にでてくる楽器に興味を持ち、歌いながら身振り手振りと楽器を表現していた。また、楽器に触れる機会を設けると、ピアノ伴奏に合わせて一定のリズムで演奏する楽しさを味わっていた。
- ・ 2学期からピアニカを始め自分で音を奏でる楽しさを知り、曲を弾く上での指番号を覚えて、思うように指を動かすことができず苦戦している様子も見られた。しかし、「メリーさんのひつじ」や「ちょうちょう」を自分の力で弾けるようになると、友だちとやり遂げた喜びを共感していたようだった。

予想される姿・幼児の姿

環境・指導のポイント

- 仏参 (10:00~)
 - ・ 静かな気持ちでお参りや歌をうたう。
- 笑顔いきいき
 - ・ ガリバー組を手本にしながら手話に親しむ。
- 朝の会 (10:15~)
 - ・ 爪の衛生チェックを行い、清潔を保つ。
 - ・ 姿勢を正し、名前を呼ばれたら元気に返事をする。
 - ・ 日付確認を行った後、おはようブックにシールを貼る。
 - ・ 給食当番を発表され、感謝の気持ちを込めて「よろしくおねがいます」を伝え当番は応える。
 - ・ 「あわてんぼうのサンタクロース」を動作を交えて元気に歌う。
- 主活動 (10:40~)
 - ・ 鞆を片付け、ピアニカを持ってきて席に座る。
 - ・ 「ちゅーりっぷ」を楽しく歌う。
 - ・ 「ちゅーりっぷ」の音階をピアノに合わせて歌い、音階を確認する。
 - ・ 手拍子でリズムをつかむ。
 - ・ 指番号を確認しながらピアニカで吹いてみる。
- ◎予想される子どもの姿
 - ・ 『お花は綺麗だね。』等、様々な想像を話す。そのとき、積極的に保育者へ伝えられずにいる子どもがいる。(言葉での表現が苦手など、理由は様々と考える)
 - ・ 指がうまく動かさず思うように弾けない子どもがいる。
 - ・ 子ども同士で苦手な部分を教えあう姿が見られる。
- 片付け
 - ・ ホースを抜き、各自ガーゼでつばを拭き取る。ピアニカのつば抜きボタンを押しながらピアニカ本体のつばを抜く。
 - ・ 順番にロッカーへピアニカを片付ける。
- 給食準備 (11:15~)
 - ・ 順番に排泄、手洗いをを行う。

- ・ 先頭で整列を促し、お念珠を配る。
 - ・ 落ち着いて参加できるよう、寄り添い傍で見守る。
 - ・ 大きな動作で手本となるように楽しんで行う。
 - ・ 教室に戻るよう声を掛ける。
 - ・ 一人ひとりの爪を見て、長さをチェックする。綺麗であればごほうびシールを渡す。
 - ・ 名前を丁寧に呼び、返事を笑顔で受け止める。
-
- ・ グループ毎に名前を呼び、各ロッカーからピアニカを持ってくるよう声を掛け、混雑を避ける。
 - 〈導入 歌 ちゅーりっぷ〉
 - ・ 演奏に向けての意識を高める。
 - ・ 音階や、リズム、指番号を子どもたちと確認し、鍵盤を拡大した表を使って説明する。
 - ・ 「ちゅーりっぷ」の歌詞から曲のイメージを連想し、どのように弾いたり吹いたりしたらよいのかを問いかける。
 - ・ 一対一で向き合い、子どもの鍵盤で見本を見せたり、次の音を導いたりしながら援助する。
 - ・ 「あと一回上手な音を聞かせて。」などと声を掛け、見通しを持って最後まで意欲的に取り組めるようにする。
 - ・ 片付け方を子どもたちと確認し、片付けを促す。
 - ・ 排泄、手洗いを促す。机を消毒する。

年中組 公開保育評価まとめ

公開保育日 平成 28 年 12 月 5 日 (月)

評 価 者 保護者代表 2 名、当園教員 4 名、私立幼稚園 3 名

評価点 1：該当しない 2：ほぼ該当する 3：該当する

評価する項目	評価
【信頼、自信、自立の構築—自己制御と社会的発達】 子どもたちにすべきことを丁寧に説明し、あらゆる危険を想定し、配慮している。	3
【信頼、自信、自立の構築—小グループ・個別のかかわり、保育者の位置取り】 保育者はすべてのエリアを見渡せると同時に、小グループや個人ともかかわることのできる場所に位置取りしている。	3
【社会的、情緒的な安定・安心—社会情緒的な安定・安心】 保育者が温かく、友好的で、落ち着いている。必要に応じて適切に、穏やかな身ぶりをしたり、身体的に近づいたり、子どもに手を触れたり抱きしめたりしている。	2.8
【言葉・コミュニケーションを支え、広げる—子どもの言葉の使用を保育者が支えること】 必要と状況に応じて、適切な声色で話している。	2.9
【言葉・コミュニケーションを支え、広げる—子どもの言葉の使用を保育者が支えること】 保育者が正しく適切な言い方を、配慮して選んでいる。	2.8
【言葉・コミュニケーションを支え、広げる—感受性豊かな応答】 保育者が小グループの子どもたちに焦点をあてており、そのグループの中で子どもたちに個別に応答している。	2.4
【言葉・コミュニケーションを支え、広げる—感受性豊かな応答】 子どもが取り組んでいることで苦労していると感じた時に、保育者が快く手を差し伸べている。	2.8
【学びと批判的思考を支える—好奇心と問題解決の支援】 保育者が子どもたちに、問題解決を手伝ってくれるよう頼んでいる（例：遊びや活動のエリアを作る時、子どもたちが素材や教材等を見つけ、配置するのを手伝っている。）	2.5

<p>【学び・言葉の発達を評価する—学びと批判的思考を支え、広げるための評価の活用】</p> <p>保育者が子どもたちの今まさに発達しつつある状況と関連づけて、子どもたちを評価している。</p>	2.8
<p>【学び・言葉の発達を評価する—学びと批判的思考を支え、広げるための評価の活用】</p> <p>保育者が、子どもたちが直面している学びの課題や行動上の困難にすぐ気付けるよう評価を行っている。</p>	2.8
<p>特に良かった点について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し方、声色に抑揚があり、子どもたちが集中していた。 ・表情が温かく、聞き取りやすい指示でやる気を継続させていた。 ・子どもがイメージしやすい言葉で集中を持続させる工夫があった。 ・自分の気持ちや考えを発表する場面で、一人一人の話に共感し、認めていてあげていた。 ・ピアノ指導する中で、歌をイメージしたり、手拍子でリズムを打ったり、音階で歌ったりと小さく段階を踏んで進めていた。 ・朝の会で子どもたちが一人一人前日の様子を発表する習慣が良い。 ・次への期待を高めながら終わっていた。 	
<p>公開保育の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝の会が予定通りに行かなかった。 ・声掛けの応答が予想通りに行って良かった。 ・主活動の時間配分がうまくいった。 ・補佐にまわったとき、うまくできない子に付きっきりになってしまった。 ・ピアノを間違えた。 	
<p>評価項目の考察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りにもある通り、一人に付きっきりになる場面が多かった。うまく演奏できる子にお手伝いをお願いするなどの工夫もあるとよい。 	

公開保育指導案

平成 28 年 12 月 6 日 (火)

2 歳児

担任：Y 教諭、F 教諭、O 教諭、介助員

テーマ 運動あそび

要領ねらい 健康 (2) 自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。

要領内容

健康 (2) いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。
人間関係 (9) よいことや悪いことがあることに気づき、考えながら行動する。
表現 (8) 自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じて遊んだりするなどの楽しさを味わう。

先週までの
活動概要と
園児の姿

- ・マット遊び…くぐる、ジャンプ、前転
 - ・バランス運動…平均台の上を歩く、ぐらぐらマット
 - ・鉄棒…ぶら下がる、くぐる ・滑り台
 - ・ボール遊び…投げる、蹴る、転がす
 - ・リトミック…ジャンプ、かけ足、ゆっくり歩き、回るなど
- 4 月当初に比べ運動機能(走る・跳ぶ等)が身について、色々なものへの興味、関心が広がっている。
何事も自分でやりたいと話す姿が見られる。

予想される姿・幼児の姿

環境・指導のポイント

○仏参(10:00～)

- ・ホールへ行き、仏参に参加する。
- ・シールが貼っているところに立ち、合掌をする。

○長岡市歌「笑顔いきいき」を歌う。

○保育室に戻る 排泄(10:15～)

- ・トイレへ行き、排泄をする。
- ・戻った子どもから順に朝の会の支度をし、着席する。

○朝の会(10:25～)

- ・普段と異なる雰囲気に対し、不安な表情を見せる。
- ・「コンコンクジャンのうた」「ことりのうた」を歌う。
- ・それぞれの動物をイメージし、動きの真似しながら歌う。
- ・日付を確認し、おはようブックにシールを貼る。
- ・日付や天気に関心を持ち、保育者に伝えようとする。

- ・ホールへ移動する。

- ・マットの上に座り、保育者の話を聞く。
- ・これからの活動に期待感を持つ。

○運動あそび【主活動】(10:35～)

1、準備体操 (ジャンプ・回る・腕回し など)

2、リトミック

- ・曲に合わせて様々な動物になりきって動きを楽しむ。(うさぎ・ライオン・カエル など)

- ・なりたい動物を保育者に伝える。

- ・活動に興味は持っているが、恥ずかしさからか参加しようとしないうちの子がいる。

3、運動あそび

- ・跳び箱に登り、高所からのジャンプに爽快感を味わう。
- ・動物になりきってマットの上をジャンプしたり歩いたりする。

<選択> ・バランスをとりながら線の上を歩く。
・フラフープの道を自由に進む。

- ・活動を振り返り、喜んで話す。

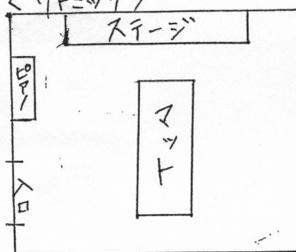
○給食準備 (11:15～)

- ・落ち着いて参加出来るようそばに付き見守る。

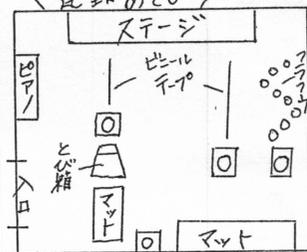
- ・子どもたちと一緒に歌う。

- ・トイレ・保育室の分担に分かれる。
- ・ズボンやパンツが上手く着脱出来ない子に対し声を掛け必要に応じて援助を行う。
- ・不安な気持ちを受け止め、寄り添う。
- ・子どもたちの前に立ち、一緒に楽しみながら歌う。
- ・子どもの動きを見ながら、速さや高低差のついた伴奏をする。
- ・子どもたちが自分で考えることが出来るよう、問いかけながら日付確認を行う。
- ・階段を上る際は、手すりに掴まるよう声を掛け、安全に移動出来るようにする。

<リトミック>



<運動あそび>



- ・子どもの動きに合わせて伴奏に変化をつける。
- ・危険のないよう見守りながら子どもたちと活動を楽しむ。
- ・子どもたちが自分のイメージを動きで表現出来るよう、共に動作を考える。
- ・保育者が共に楽しむことで、子どもが自分からやろうとする意欲を引き出していく。

- ・安全に活動を楽しむことが出来るよう手を取り支える。
- ・出来たことを認め、次への意欲へとつなげる。
- ・子どもたちの言葉に傾聴し、表情や気持ちに共感する。

- ・子どもたちと共に活動を振り返る。

○給食準備。

2歳児 公開保育評価まとめ

公開保育日 平成28年12月6日(火)

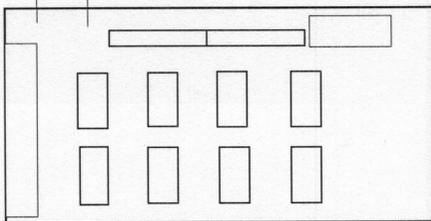
評価者 保護者代表2名、当園教員4名、市内私立幼稚園1名

評価点 1:該当しない 2:ほぼ該当する 3:該当する

評価する項目	評価
<p>【信頼、自信、自立の構築—子どもの選択と自立した遊びの支援】</p> <p>保育者が子どもたちの遊びから「一歩下がって」おり、不必要に介入していない。子どもたちの遊びのテーマ、複雑さのレベル、目的、選択を受け入れている。</p>	2.4
<p>【信頼、自信、自立の構築—小グループ・個別のかかわり、保育者の位置取り】</p> <p>それぞれの遊びや活動のエリアが混雑しすぎないように配慮している。(例:そのエリアで遊べる人数の上限を、絵や数字にして貼ることで、幼児の理解を支える。)</p>	2.4
<p>【社会的、情緒的な安定・安心—社会情緒的な安定・安心】</p> <p>保育者が温かく、友好的で、落ち着いている。必要に応じて適切に、穏やかな身振りをしていたり、身体的に近づいたり、子どもに手を触れたり抱きしめたりしている。</p>	2.6
<p>【言葉・コミュニケーションを支え、広げる—保育者が子どもの声を聴くこと、子どもが他者の言葉を聞くように支えること】</p> <p>保育者の身振りが子どもたちとのコミュニケーションをとりたいことを示している。(両手を開く、前のめりになる、笑顔、子どもの言葉を待ち、耳を傾ける。)</p>	2.6
<p>【言葉・コミュニケーションを支え、広げる—子どもの言葉の使用を保育者が支えること】</p> <p>必要と状況に応じて、適切な声色で話している。</p>	2.5
<p>【言葉・コミュニケーションを支え、広げる—感受性豊かな応答】</p> <p>保育者が小グループの子どもたちに焦点をあてており、そのグループの中で子どもたちに個別に対応している。</p>	2.5
<p>【学びと批判的思考を支える—好奇心と問題解決の支援】</p> <p>それぞれの活動時間の中で、使うことのできる素材や教材等が多様にある。保育者が、子どもたちが取り組みたくなるような遊びや活動をわかっており、そういうものを選んでいく。</p>	2.4
<p>【学びと批判的思考を支える—好奇心と問題解決の支援】</p> <p>ひとつの活動時間で最低1回は、保育者が子どもたちを支える活動を行っている。</p>	2.6

<p>【学びと批判的思考を支える—概念発達と高次の思考の支援】</p>	
<p>子どもたちの批判的思考（例えば、順番にすること、比較すること、対照して差異を捉えること、問題解決すること）を支えるような、適当な素材や教材等を用意し、保育者がガイドする遊びを展開している。</p>	2.4
<p>【学び・言葉の発達を評価する—学びと批判的思考を支え、広げるための評価の活用】</p>	
<p>保育者が子どもたちの今まさに発達しつつある状況と関連づけて、子どもたちを評価している。</p>	2.4
<p>特に良かった点について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や持ち物管理等、毎日の積み重ねで得た習慣を感じた。 ・2歳児らしく背伸びしすぎず取り組んでいた。 ・先生のチームワークがとても良かった。 ・一人一人にスキンシップや優しい声掛けができていた。 ・園児に発言させたり、考えさせたりする声掛けやゆっくり丁寧な指導が見られた。 ・楽しく活動していて園児も進んで取り組んでいた。 ・ピアノ伴奏の強弱やスピード、音の高低差で活動をスムーズに進めていた。 	
<p>公開保育の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつもと違う雰囲気に舞い上がってしまう園児がいて対応に苦慮した。 ・活動が少し長かったため、集中力が切れてしまう園児がいたので、臨機応変に時間調整や活動内容の変更があってもよかった。 ・指導案は主活動の途中でトイレに行きたがる園児への対応も踏まえて作成する必要がある。 ・指導に色々と工夫したことでうまくいった。 ・毎年クラスの雰囲気が大きく変わるので、1年を通したカリキュラムを年度当初に立てることは難しく、その都度修正が必要。 	
<p>評価項目の考察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2歳児は月齢による差が大きいため、その点を知る教育関係者は評価に苦慮されたことと思う。 	

公開保育指導案

平成28年12月8日(木)		年少児	N 教諭 O 教諭
テーマ	リズム遊び		
要領ねらい	表現(2)感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。		
要領内容	表現(3)様々な出来事の中で、感動したことを伝え合う楽しさを味わう。 表現(4)感じたこと、考えたことなどを音や動きなどで表現したり、自由にかいたり、作ったりなどする。		
先週までの活動概要と園児の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・四分音符・四分休符・八分音符・二分音符を覚え、積極的にクイズに参加する。 ・お絵かきの時間、自由画帳に音符を描いて「タン、タタ、ウン」など読んでいる。 ・一小節程度の音符を並べ、リズム打ちをする。「ダ・イ・コ・ン」「○○ちゃん／くん」等ものや人名に替えてリズム打ちを楽しむ。 ・遊びの中で見つけた言葉をリズムに替えて友だちと一緒に手を鳴らし喜んでいる。 ・リズムを理解していない子どもは少人数で保育者と対面し、1つ1つの音符をリズム打ちする。ゆっくり進めることで理解が進み、リズム打ちができるようになってきた。 		
予想される姿・幼児の姿		環境・指導のポイント	
<p>○仏参(10:00~)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホールに行き、手を合わせ仏参に参加する。 ・長岡市歌「笑顔いきいき」を手話と共に歌う。 ・教室に戻る。 <p>○朝の会(10:15~)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カバンを出し、机の横にかける。 ・季節の歌「北風小僧の寒太郎」「カレーライスのうた」を元気な声で歌う。 ・保育者と日付を確認し、朝の挨拶をする。 ・おはようブックにシールを貼る。 ・おはようブックをカバンにしまい、男女別に個人のカゴに戻す。 <p>○排泄(10:30~)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者から呼ばれたグループの子どもは歩いてトイレへ行き、手洗いをして教室へ戻る。 <p>○音符クイズ[主活動①](10:40~)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音符カードを見て何の音符かリズムで答える。 ・リズムを言葉に変換し、楽しくリズム打ちをする。 <p>○リズム発表[主活動②]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ毎に配られた音符カードを手取る。 ・子ども同士でカードを自由に組み合わせる。 ・グループ毎に前に出て組み合わせたカードをホワイトボードに貼り、発表する。 ・発表されたリズムを読み、全員でリズム打ちする。 ・保育者からインタビューされた子は名前と感想を答える。 <p>○まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者の言葉掛けに反応し、次回の活動に期待を持つ。 <p>○給食準備(11:15~)</p>		<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの姿勢や手の合わせ方を指導しながら、見守る。 ・子どもと一緒に長岡市歌を歌う。 ・歩いて教室に戻るよう促す。 <p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもに正しい椅子の座り方を問いかけ、落ち着いて朝の会を行えるようにする。 ・子どもたちの前に立ち、一緒に楽しみながら歌う。 ・子どもたちの様子を見守りながらピアノを弾く。  <p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレの混雑を避けるため、グループ毎に排泄を促す。 ・待機している子どもが退屈しないよう手遊びを行う。 ・天気が良ければ換気を行う。 <p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> ・順番にカードを見せ、反応に応じて数回見せる。 ・2~3枚程度のカードを組み合わせ、言葉に変換できるようにする。 ・馴染みのある言葉を提案し、イメージしやすくする。 <p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音符カードをそれぞれのグループに配布する。 ・音符の組み合わせを確認し、必要に応じて援助する。 ・前に出た時に忘れてしまわないよう、組み合わせを写真に収める。 ・グループ毎に発表することを伝え、順番に呼ぶ。 ・ホワイトボードに貼る際に転倒しないよう見守る。 ・リズムを見て言葉に変換できそうなものは換え、楽しめるよう工夫する。 <p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感想を聞き、2月の発表会で楽器を持ってリズム打ちすることを伝え、期待・意欲を高める。 	

年少組 公開保育評価まとめ

公開保育日 平成 28 年 12 月 8 日 (木)

評 価 者 保護者代表 2 名、当園教員 4 名、市内私立幼稚園 1 名、市立幼稚園 1 名

評価点 1：該当しない 2：ほぼ該当する 3：該当する

評価する項目	評価
<p>【信頼、自信、自立の構築—小グループ・個別のかかわり、保育者の位置取り】</p> <p>保育者はすべてのエリアを見渡せると同時に、小グループや個人ともかかわることのできる場所に位置取りしている。</p>	3
<p>【社会的、情緒的な安定・安心—社会情緒的な安定・安心】</p> <p>保育者が温かく、友好的で、落ち着いている。必要に応じて適切に、穏やかな身ぶりをしたり、身体的に近づいたり、子どもに手を触れたり抱きしめたりしている。</p>	2.5
<p>【言葉・コミュニケーションを支え、広げる—保育者が子どもの声を聴くこと、子どもが他者の言葉を聞くように支えること】</p> <p>保育者の身ぶりが子どもたちとコミュニケーションをとりたいことを示している。</p>	2.9
<p>【言葉・コミュニケーションを支え、広げる—保育者が子どもの声を聴くこと、子どもが他者の言葉を聞くように支えること】</p> <p>子ども達と会話する時に、子どもたちと視線の高さに合わせている。</p>	2.3
<p>【言葉・コミュニケーションを支え、広げる—子どもの言葉の使用を保育者が支えること】</p> <p>子どもたちの年齢や能力に応じて、適切な言葉を用いている。</p>	2.5
<p>【言葉・コミュニケーションを支え、広げる—子どもの言葉の使用を保育者が支えること】</p> <p>子どもたちの興味やわくわくする気持ちを支え、情緒を表出し、子どもたちを落ち着かせ、理解を助けるようなさまざまな声色を使用している。</p>	3
<p>【言葉・コミュニケーションを支え、広げる—感受性豊かな応答】</p> <p>子どもが取り組んでいることで苦労していると感じた時に、保育者が快く手を差し伸べている。</p>	2.9
<p>【言葉・コミュニケーションを支え、広げる—感受性豊かな応答】</p> <p>子ども一人ひとりに対して、適切な時に、すぐほめ言葉や励ましの言葉をかけている。</p>	2.8

【学びと批判的思考を支える—好奇心と問題解決の支援】	
ひとつの活動時間で最低一回は、保育者が子どもたちを支える活動を行っている。	2.5
【学び・言葉の発達を評価する—学びと批判的思考を支え、広げるための評価の活用】	
保育者が子どもたちの今まさに発達しつつある状況と関連付けて、子どもたちを評価している。	2.8
特に良かった点について	
<ul style="list-style-type: none"> ・2月のお遊戯会に向け、カリキュラムの中で少しずつ積み上げられていると感じた。 ・個々の表情、声を拾い、手を添えるなど配慮ができていた。 ・補助の先生がグループごとに見回りながら、必要に応じた声掛けや目を合わせて対応したりしていて、しっかり目が行き届いていると感じた。 ・園児が安心して穏やかな表情で活動を楽しんでいた。 ・園児は一つ一つの活動をしっかり理解しながらスムーズに取り組んでいた。 ・先生と園児の信頼関係ができていたと感じた。 ・音符の理解をしやすいように工夫ができていた。 ・園児が全員揃ってうまくできた時に「気持ちいいね」と表現することで先生も一緒に喜びが共有できていた。 	
公開保育の振り返り	
<ul style="list-style-type: none"> ・予想を上回り上手にできていた。 ・主活動を進める上で少し早口になっていた。 ・園児も緊張していたせいか、いつもより落ち着いて取り組んでいた。 	
評価項目の考察	
<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に声掛けもしっかりできていたが、腰を落として視線の高さを合わせる機会を増やすとなお良い。 	

公開保育指導案

平成 28年 12月 9日 (金)

年長児

担任：T 教諭 M 教諭

テーマ ガリバーオリジナルカレンダー作り

要領ねらい 表・2 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。

要領内容

表・7 かいたり、つくったりすることを楽しみ、遊びに使ったり、飾ったりなどする。
 人・8 友達と楽しく活動する中で、共通の目的を見だし、工夫したり、協力したりなどする。
 言・4 人の話を注意して聞き、相手に分かるように話す。

先週までの活動概要と園児の姿

・日にちはクラスで相談しながら1人1日担当の数字を決めた。
 ・自分の担当の日にちが何の日か保護者の方と家庭で調べ、プリントの表に12ヶ月分記入してきた。
 ・月は誕生児ごとにグループとなり、相談しながら部屋にある物(椅子、ピアノカ、お着替え袋など)を使って数字を作った。完成した数字をカメラに撮り、写真を見ると普段使っている物でちゃんと数字が出来ていてとても満足そうにしていた。

予想される姿・幼児の姿

環境・指導のポイント

○仏参をする。

○朝の会

・排泄をした子から鞆を準備し、自分の席に座る。
 ・姿勢を正し、日付確認、挨拶を大きな声でする。
 ・今日のシール当番、お手伝い当番を聞く。
 ・シール当番は保育者からシールを受け取り、待っている子に配る。
 ・おはようブックにシールを貼った子から鞆を片付け、座って待つ。
 ・出席確認では、返事をしてから体調について答える。他の子は発表をしている子の声に耳を傾けつつ、自分の順番になることを楽しみに待つ。
 ・「カレンダーマーチ」「もりのくまさん」「ゆきのぺんきやさん」を元気に歌う。
 ※「もりのくまさん」はピアノカで練習している曲なので、5番まで歌ったあとにドレミの音階で歌う。

○保育者の話を聞く

・カレンダー制作の続きをすることを知り、喜ぶ。
 ・男女順番に制作に必要な物を用意する。
 〈準備する物〉のり、はさみ
 ・保育者の説明を聞きつつ、疑問に思ったことを質問する。

○カレンダー制作

〈手順〉
 ・1人ひとり担当の数字を自分達で選んだ好きな色の折り紙で貼り絵をする。
 ・線からはみ出さないよう気をつけて貼る。
 ・貼り終わった子は前の机に出来上がった作品を持ってくる。
 ・早く終わって時間がある子は1人ひとりが考えた一言メッセージをピコピコマーカでなぞる。

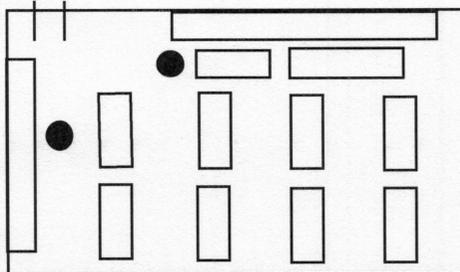
○片付け

・のりやピコピコマーカを自分のお道具箱に片付ける。
 ・自分の近くに落ちている折り紙を捨てる。

○保育者の話を聞く

・今回の活動で他児が作ったカレンダーの数字を見て「すごい!」「上手だね!」など声をかける。
 ・段々オリジナルカレンダーが完成してきたことがわかり、次回の活動を楽しみにする。

○正しい姿勢、態度でお参りができているか見て回る。
 ○排泄を済ませ、鞆を準備し席に座るよう促す。
 ・日付確認の時に子どもが調べてきた「今日は何の日?」を発表し、活動内容と結びつける。
 ・子どもたちが自分の当番を聞き逃さないよう、大きな声でゆっくりと発表する。
 ・シールを貼った子は鞆を片付け、自分の席で待つよう声をかける。
 ・出席確認をする。風邪も流行っている季節なので自分の体調を意識するよう、名前を呼ばれた子は返事と今の体調について答えてもらう。
 ・曲調に合わせてピアノを弾き、リズムに乗って楽しんで歌えるようにする。



●…保育者

○活動に期待がもてるよう、今までの活動を振り返る。
 ・ロッカーの前が混み合わないよう、順番に必要な物を用意するよう促す。
 ・全員が保育者の方を向き、話を聞く姿勢になったことを確認してから話を始める。
 ○理解しやすいよう実際に作りながら説明をする。

・グループごとに子どもたちの様子を見つつ、声をかける。
 ・前の机で子どもたちの作品を受け取りつつ、頑張ったことを認め、1人ひとりに声をかける。
 ・「もっとこうした方が素敵になると思うよ。」など子どもたちのやる気が出るように助言をする。
 ・早く終わった子に一言メッセージの用紙を渡す。
 ○片付けの5分前に声をかけ、活動に見通しをもてるようにする。
 ・使った道具をお道具箱に片付け、自分の近くに落ちている折り紙を捨てるように促す。
 ○数人の子どもが作った作品を発表し、達成感を味わえるようにする。
 ・オリジナルカレンダーの手本を見せ、次回の活動に期待が持てるようにする。

年長組 公開保育評価まとめ

公開保育日 平成 28 年 12 月 9 日（金）

評 価 者 保護者代表 2 名、当園教員 4 名、小学校教員 2 名、私立幼稚園 1 名

評価点 1：該当しない 2：ほぼ該当する 3：該当する

評価する項目	評価
<p>【信頼、自信、自立の構築—自己制御と社会的発達】</p> <p>子どもたちにすべきことを丁寧に説明し、あらゆる危険を想定し、配慮している。</p>	2.9
<p>【信頼、自信、自立の構築—小グループ・個別のかかわり、保育者の位置取り】</p> <p>保育者はすべてのエリアを見渡せると同時に、小グループや個人ともかかわることのできる場所に位置取りしている。</p>	2.8
<p>【社会的、情緒的な安定・安心—社会情緒的な安定・安心】</p> <p>観察時間中のいずれかの時点で、ほとんどの子どもに対して、ポジティブで個別的なまなざしを向けている。</p>	2.9
<p>【言葉・コミュニケーションを支え、広げる—子ども同士の会話を支えること】</p> <p>子どもたちが活動中や一日を通して互いに話しかけやすいよう、保育者が見本となり、また、子どもたちを援助している。</p>	2.6
<p>【言葉・コミュニケーションを支え、広げる—子ども同士の会話を支えること】</p> <p>子ども一人ひとりが話したいと思った時に話せる機会を保障している。そのために、保育者が子ども一人ひとりと、あるいは小グループとかかわっている。</p>	2.6
<p>【言葉・コミュニケーションを支え、広げる—保育者が子どもの声を聴くこと、子どもが他者の言葉を聞くように支えること】</p> <p>子どもたちと会話する時に、子どもたちと目線の高さに合わせている。</p>	2.8
<p>【言葉・コミュニケーションを支え、広げる—子どもの言葉の使用を保育者が支えること】</p> <p>保育者が正しく適切な言い方を、配慮して選んでいる。</p>	2.4
<p>【言葉・コミュニケーションを支え、広げる—感受性豊かな応答】</p> <p>子どもが取り組んでいることで苦労していると感じた時に、保育者が快く手を差し伸べている。</p>	2.9

【言葉・コミュニケーションを支え、広げる—感受性豊かな応答】	
子ども一人ひとりに対して、適切な時に、すぐにほめ言葉や励ましの言葉をかけている。	2.4
【学びと批判的思考を支える—概念発達と高次の思考の支援】	
子どもたちから助けを求められた時に、子どもたち自身で問いに対する答えを見つめられるよう支援している。	2.1
<p>特に良かった点について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちも楽しそうに取り組んでいた。 ・一人一人に声をかけ、意欲がわくような援助があった。 ・グループで話し合ったり、考えながら取り組む姿が意欲的だった。 ・何をどうするか、一つずつ指示されていた。 ・道具の準備を慌てずする園児とそれを待つ先生の関係性が良かった。 ・先生の笑顔が良かった。 ・先生が子どもたちの興味や関心を普段から引き出しているので、お話をよく聞けると感じた。 ・グループ内で個々が作った物の形の違いを楽しんだり、共有したりしていた。 ・皆で作上げるカレンダーを一人ひとりが責任を持って取り組める姿。 	
<p>公開保育の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちがいつもよりしっかりしすぎるぐらいで驚いた。 ・教室での朝の会が長くなり、予定の時間より少し押ししてしまった。 ・先生自身が緊張して余裕がなかった。 ・思ったより活動がスムーズに行えた。内容が簡単すぎたかもしれない。 	
<p>評価項目の考察</p> <p>誉める場面が少なかったように感じる。</p> <p>評価の低い項目は、該当する場面が少なかった点もあげられる。</p>	